

# きずな



2014年 2月27日

NO 969

赤旗井原出張所

1面からつづく 2面へつづく

井原市井原町103 (Tel. 62-6200)

2月24日、井原市議会2月定例会が開会しました。会期は3月13日までの18日間です。24日の開会日、瀧本市長が議案の提案説明を行いました。その中で、平成26年度における予算編成及び主要施策について話された部分を今週と来週でお知らせします。

## 平成26年度における予算編成及び主要施策について

議案の説明に先立ち、市政運営の基本方針と主要施策の大綱につきまして、私の所信の一端を申し述べ、議員並びに市民各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

本市の平成26年度の予算案につきましては、井原市第6次総合計画後期基本計画に掲げる各種施策を、引き続き着実に推進するため、社会経済情勢を踏まえつつ、財源確保が厳しい中であっても、緊要と考えられる施策に必要な経費の確保を図るため、限られた財源の重点的・効率的な配分を行い、将来都市像の実現に向け、積極的な予算編成を行ったところであります。

中でも、地方版「成長戦略の井原モデル構築」に向け、「経済・雇用対策」として、昨年度の新規8事業に加え、四季が丘団地への企業誘致や地場企業の生産性向上に対する取り組み、資金調達への支援など新たに8事業を実施することにより、地域経済の活性化につながる諸施策を「イバラノミクス」と名付け、予算の重点化を図っております。また、子どもの「学力向上対策」として、きめ細やかな指導による確かな学力を育成するため、新たに35人学級実施による少人数教育の推進を「いばらっ子イノベーション35推進事業」として取り組むこととしております。

その結果、一般会計予算額を200億6,300万円とし、前年度当初比4億700万円、2・1%増の過去最大となる大型予算を編成したものであります。

また、特別会計では、国民健康保険事業など8会計で140億3,060万円を、水道、病院、工業用水道の企業会計は、43億3,974万1,000円を計上しており、あわせますと平成26年度の予算総額384億3,334万1,000円となっております。

それでは、市政の基本方針につきまして、後期基本計画に掲げる6つの基本目標に沿って、順次申し述べてみたいと思います。基本目標の初めは、

## 心豊かでたくましいひとを育てるまちづくり

**学校教育** 先ほどご説明申し上げたとおり、学力向上、いじめや不登校の未然防止を図るため、市内の小学校全学年において、35人以下の少人数学級とし、子どもたち一人一人にきめ細やかな指導を行う「いばらっ子イノベーション35推進事業」を新たに実施いたします。また、学習支援員の拡充のほか、地域土曜学習サポート事業を、全小学校区において実施するとともに、スポーツふれあい交流事業「夢の教室」、郷土愛を育む「ふるさと井原魅力発見事業」を引き続き行い、学力向上や心の教育を推進してまいります。

加えて、不登校対策として、登校に向けての相談支援を行う登校支援員の配置、適応指導教室「大山塾」を拠点とした活動に取り組むこととしております。

**学校施設等の整備** 長年の懸案でございました市立高等学校の新校舎建設を進めるほか、他の学校施設につきましても、引き続き、営繕工事に取り組み、安全・安心な教育環境の整備充実を努めてまいります。

**幼稚園教育の充実** 4月から3歳児教育を大江幼稚園で、また預かり保育を大江・井原の2幼稚園で新たに開始いたします。

**社会教育関係** 出部公民館の建設やアクティブライフ井原の営繕工事など、施設の整備充実を図ることとしておりますほか、平成21年度に策定いたしました「第2次井原子ども読書活動推進計画」を見直すとともに、ブックスタートで始まった絵本との関わりをさらに継続していくため、新たに2歳児健康診査時に本の読み聞かせを実施する「セカンドブック事業」を行うこととしております。

**スポーツ活動の充実** 引き続き競技力の維持向上と選手に対する育成強化の支援を行うとともに、陸上競技場の第4種公認継続認定のための施設整備を行うなど、スポーツ環境の充実を図ることとしております。

**井原市グラウンド・ゴルフ場** 先月末で46,000人を超える利用者があり、今後におきましてもグラウンド・ゴルフのさらなる普及を目指すとともに、生涯スポーツの振興にも努めてまいります。



2面へつづく

**地域文化の振興** 本市文化活動の基盤である井原市文化協会が、本年60周年を迎えるにあたり市民の芸術・文化活動へのさらなる支援を行うこととしております。また、本市にゆかりのある偉人を情報発信する「郷土偉人伝承事業」における番組放映も本年4月で36人の偉人すべてを紹介することとなり、今後は、この番組をDVDにまとめ市内の小中学校や公共機関に配布し、教材などに活用していただくこととしております。

さらに、来月刊行する井原の方言集につきましても、記念講演会を開催するなど、地域文化の推進に努めるほか、田中美術館におきましては、本年秋に井原市・小平市の共同企画として、特別展「藤井浩祐展 一日本のヴィーナス」を開催し、文化の振興を図ることとしております。

## いつまでも健康ではつらつと生きるまちづくり

**「第2次健康いばら21」** 来月、計画ができあがる。健康寿命日本一をめざし、市民参加による主体的な健康づくりと効果的な健康対策を引き続き、推進していくこととしております。新たな事業といたしましては、笑って健康元気アップ事業の中で、元気アップ体操を普及し、市民の自発的な健康づくりの推進を図るため「元気アップ体操コンテスト」の実施や、子育て世代を対象とした「笑顔の食育参観日」をさらに充実させるため、幼稚園のみでの実施であったものを、保育園でも行うこととしております。

**各種検診** 新たに歯周疾患検診の対象者を拡大することで、受診しやすい環境を整えることにしているほか、引き続き、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がんの検診の一部無料化や乳幼児等の予防接種事業を実施するなど、市民の健康増進施策を積極的に推進することとしております。

**子育て支援** 保育園の保育料は、国が徴収基準を示す中、より子育てしやすい環境をつくり、保護者の負担を軽減するため、引き続き約30%の軽減措置を行うこととしております。さらに、婚姻歴のないひとり親世帯を支援するため、保育料算定の際に、税制上の寡婦控除をみなし適用することとしております。また、保育ニーズの多様化に対応するため、新たに病後児の保育を実施する保育園に対し、財政支援をすることとしております。

このほか、平成27年4月から予定している子ども・子育て支援新制度に向け、外部委員等からなる組織を設置し、アンケート調査を実施して、現在、「子ども・子育て支援事業計画」の策定に向け、取り組んでいるところであります。



**高齢者福祉** いきいきデイサービス事業や軽度生活援助サービス事業、寝具類乾燥消毒サービス事業等の実施により、在宅福祉サービスの充実を図り、いばらサン交流館においては、三世代交流事業を引き続き、実施することとしております。

**美星国保診療所** 耐震診断の結果を受け建て替えている美星国保診療所も、来月には完成することから、次の段階として特別養護老人ホーム「星の郷」の耐震改修設計業務を行うこととしております。

**介護保険事業** 平成27年度から3カ年を計画期間とする、井原市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画第6期の策定を予定しておりますほか、引き続き、介護サービスの充実に向けてまいります。

**障害者福祉** 障害者基本法と障害者総合支援法の理念に基づき、障害者の地域生活への移行を一層進めるため、相談支援体制と就労支援の強化等を行うこととしております。

さらに、各種の自立支援事業や地域生活支援事業を実施し、地域で自立した生活を営むことができるよう、障害者福祉計画・障害福祉計画を改訂することとしております。

**地域福祉の推進** 地域福祉の推進に取り組むための井原市地域福祉計画を、昨年度からの2カ年度で新たに策定し、社会福祉団体やボランティア等との協働に努めてまいります。また、消費税率の引き上げに際し、低所得者に対する適切な配慮として臨時福祉給付金の支給及び子育て世帯への影響を緩和するための子育て世帯臨時特例給付金の支給を予定しております。

## 美しい自然を未来につなぐまちづくり

**小田川を市民の憩いの場** とするため、市民との協働により、河川敷の雑木の伐採や草刈りなどを行い、河川の自然環境保全に努めてまいります。

**環境対策** 引き続き、ごみの減量化・再資源化に積極的に取り組み、廃棄物の不法投棄の未然防止対策や、環境美化活動の推進に努めるほか、住宅用太陽光発電システム等設置費補助を実施し、今年度策定いたします「井原市再生可能エネルギー推進ビジョン」に示す地域の特性を活かした再生可能エネルギーの積極的な活用を促進してまいります。また、新たに電気自動車充電設備を整備することとしており、温室効果ガスの排出制御とクリーンエネルギーの推進に努めてまいります。

来週の「きずな」970号へ続く

この「きずな」は森本ふみお議員のブログ (<http://m.okajcp.com>) でも見れます

生活に役立ち勇気と確信のわくしんぶん[赤旗]をお読みください(月額日刊紙3,400円日曜版800円)